

## ① 企画調整部（旧企画経営情報部）（22年間の主な業績）

### 平成元年 農業技術情報システムの開発

システム開発は、昭和62年に策定された「熊本県農業技術情報システム化基本構想」に基づき研究機関、普及機関、行政機関等と農業情報室とが一体となってシステム化の検討を行い、平成元年の農業研究センター開設と同時にその構築に着手した。

#### （気象情報システム）

気象が作物生育や病虫害発生に及ぼす影響や因果関係は試験研究や普及指導において非常に重要な資料であるため、その基礎データを得ることを目的として開発された。

#### （水稻・果樹等の生育情報管理システム）

研究所や普及センターで調査された生育情報の検索や、比較・診断、分析結果に専門的な技術判断を加えて分かりやすく解説することで、今後の農作業計画を支援し、収量及び品質の向上と生産安定を図ることを目的として開発された。

#### （肉用牛改良情報システム）

従来繁殖雌牛の表現型に頼る選抜によって発育、肉質等、産肉能力にバラツキが生じていたため、雄牛中心に行われていた肉用牛の改良を、繁殖雌牛についても遺伝的レベルを明らかにして選抜を行うと同時に、繁殖及び肥育農家に正しい情報を提供して生産物の品質向上と均一化を図るといふねらいで開発を行った。

### 平成11年 イン트라ネット情報システムとして再構築

平成11年には、県庁LANを利用したイントラネット情報システムとして再構築し、以降農林水産部はもとより全庁的な農業情報の支援システムとして運用されている。

### 平成12年 農業研究センターホームページの開設

平成12年8月にインターネット上に農業研究センターの紹介や研究の成果、試験研究推進方策等を掲載するホームページを開設した。

### 平成17年 農業技術情報システムのサーバー更新

### 平成20年 耐暑性野菜栽培マニュアル「暑い夏をのりきる 野菜たち！」の発行

気候温暖化の影響等で、夏季の豪雨や高温等の異常気象が発生し、夏野菜等の生産が不安定な状況となっており、県下各地で夏場に安定生産できる農作物が強く求められていたため、「耐暑性健康増進作物導入促進事業」により、関係研究所と分担・協力して国外（主に亜熱帯地域）から耐暑性及び健康機能成分を持つ種苗を導入し、栽培方法や調理方法の確立に取り組み、その成果を「耐暑性野菜栽培マニュアル」として刊行した。



耐暑性野菜栽培マニュアル

## 平成 21 年 農業研究センターホームページの広報課（熊本県ホームページ）への移行

県民をはじめ全国の利用者が、最新情報を「迅速に」「詳しく」「簡単に」取得できることを目指して、それまでの農業研究センター独自のプロバイダーを利用したホームページから、熊本県ホームページ内の組織(目的)別のコンテンツへの位置づけを行った。

## 平成 23 年 農業技術情報システムのサーバー更新

使用機器の更新（新規リース）を行うとともに、オペレーティングシステムやデータベースシステムのバージョンアップを行った。



サーバー更新の状況

なお、農業技術情報システムに対する年度毎のアクセス数（延べ）は以下のとおりであり、農政関係を中心とした多くの県職員が、気象情報や作物の生育情報等を利用して

平成 18 年度	15,936 件
平成 19 年度	26,899 件
平成 20 年度	22,010 件
平成 21 年度	17,710 件